

(別 紙)

新エネルギー設備導入支援事業 設備等導入概要

事業者名 鶴居村

1 補助事業名 鶴居村立鶴居中学校地中熱設備導入事業

2 コンソーシアムまたは事業者名 鶴居村

3 事業期間 令和5年6月15日～令和6年3月29日

4 事業の目的

鶴居中学校の大規模改修工事に伴い、新エネルギー設備として、「地中熱ヒートポンプ設備」を導入し、省エネルギー対策や再生可能エネルギーの活用を図る。

また、近年に頻発している異常気象による猛暑が続くことも想定され、快適な学習環境を整備するため冷房設備を設置し、温室効果ガスを抑制する。

5 補助金の交付額

金 50,000,000 円

6 事業の概要

鶴居村では、「鶴居村地球温暖化防止実行計画」において、公共施設の低炭素化として、地中熱を利用した設備の導入・活用を推進することとしており、令和2年には「子どもセンター」に地中熱ヒートポンプを導入したところ。

今般、鶴居中学校の大規模改修工事に伴い、これまでの灯油を使用した暖房設備に変えて、地中熱ヒートポンプを活用した冷暖房設備を導入することで、近年に頻発している異常気象による猛暑などに対応できる快適な学習環境を整備するとともに、省エネルギーや、再生可能エネルギーの利用拡大など温室効果ガスの排出削減に取り組む。

7 事業の実施結果及び期待される効果

当該事業により、生徒はもとより教職員等に対し、快適な教育環境の提供に繋がるとともに、ゼロカーボンシティ宣言（令和4年度）を行った当村において、当該取組みは村民に対し自然環境の保全意識の向上や環境教育に繋がるとともに、村（行政）が率先して温室効果ガスの排出削減に向けた省エネルギーや、再生可能エネルギーの利用拡大などの取組みを実践し、成果を広くPRしていくことで、村民や事業者等の地球温暖化防止に向けた取組みのさらなる実践を促すことが期待される。

また、近隣自治体に広く周知することにより、地域全体の省エネ、CO2削減に向けた意識向上や

地中熱を活用した冷暖房設備導入のモデルケースとしての展開などの波及効果が期待される。灯油／電気を主熱源とした設備システムと比較して、15.1 t-CO2/年（38%）の CO2 削減効果を見込む。

## 8 今後の展開

設備の適切な維持管理を行い、当該学校の快適な学習環境を提供するとともに、再生可能エネルギーの利用拡大などの取組みを全村的に展開する。

## 9 状況写真

